佐野短期大学シラバス2013

				圧対 歴別八子 シノ・ハ2016	
	科目名 Subject Name	開講年次	開講学期	学期 曜日・時限	
英作文Ⅱ English Composition II		2年	後期	別途、時間割表参照	
単位数 授業の形態		授業の性格			
1単位	演習	選択			

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

特になし

同時に履修しておくことが望まれる科目

特になし

担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
David Bradley	なし	なし	授業中に指示します		

このコースでは、センテンスから、パラグラフの構成、エッセイの構成を分析しながら、基本からアカデミックエッセイを書くための練習を行う。コースの終わりまでに一つのエッセイをまとめて、提出する。他に、e-mailを書く練習もする。

授業の到達目標

このコースの目標は

- の英語を書く力を上げることができるようにする。 ②アカデミックライティングの形を基礎から分析し、身に着けることができるようにする。
- ③ソーシャルメディア等を使用して、外国人と電子メールでコミュニケーションをとることができるようにする。

授業の方法

授業では、明瞭なパラグラフを書くための色々な練習をする。授業のほとんどを書くことに費やす。

学習の成果

この授業を履修すると、あなたは

- のためらいもなく身近なトビックについて一つのパラグラフを書くことができる。 ②大学で書くようなアカデミックエッセイを見分けて、作成することができる。
- ③外国にいる人と電子メールで交換することができる。

授業のスケシ	受棄のスケジュールと内容		
第1回目	Introduction to the course		
第2回目	Choosing a topic: brainstorming		
第3回目	Structure of a paragraph		
第4回目	Paragraph development: topic sentence		
第5回目	Paragraph development: concluding sentence		
第6回目	Paragraph development: supporting information		

第7回目	Descriptive paragraphs					
第8回目	Opinion paragraphs					
第9回目	Comparing and contrasting					
第10回目	Structure of an essay					
第11回目	Outline					
第12回目	Introduction					
第13回目	Conclusion					
第14回目	Editing the essay					
第15回目	Writing test and feedback					
成績評価のプ 評価	方法と基準	dral A	1 おける 甘油			
評価	の領域	割合	評価の基準			
授業参加態原	度	60%	毎回エッセイの一部の下書きを書くので、その毎回の積み重ねが重要です。			
レポート		40%	S:優れたもの。A:コース中習ったことを全部応用する。B:若干内容が簡単で、英語構成が単純。C:平均を下回り、授業の内容を把握していないような場合。D:受理しがたいもので、エッセイの体をなしていない。			
調査報告書						
小テスト						
中間・学期を	末試験					
発表内容 (態度含む)						
その他						
教科書と参考図書						
教科書を使用しない。プリントを配る。						
履修上の心谷	履修上の心得・ルール					
初日、筆記用具、ファイル等について指示がある。それらを用意する。						